

「かたな」についてのいろいろ

日本の刀剣文化は、古墳時代の剣からはじまり、反りのある日本刀が現れて興隆期を迎え、江戸時代には「武士のたましい」と讃えられるようになります。開国、近代国家の成立をへて、すでに刀剣は社会的な使命を終えますが、今も現代刀匠の手により、美術刀剣として日本刀は鍛え続けられています。

今回の関西大学ミュージアム講座では、この日本の刀剣文化「かたな」についてのいろいろを、博物館の学芸員、刀匠、文化財保護の担当者、3名の講師の先生からお話いただきます。

第1回

10/12 (土) 内藤 直子 大阪歴史博物館 学芸員

刀剣展示の最前線と刀剣学の現在

第2回

10/19 (土) 高見 國一 刀匠

現代刀匠として日本刀を鍛える

第3回

10/26 (土) 深谷 淳 名古屋市教育委員会文化財保護室

藤ノ木古墳出土の原「たままきのたち玉纏太刀」をめぐる諸問題

【会場】 関西大学千里山キャンパス 簡文館1階 セミナー室

【定員】 50名(事前申込み) 【受講料】 無料

【時間】 13:30~15:00(開場 13:00)



関西大学博物館

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>



第1回 10/12 13:30 ～15:00	刀剣展示の最前線と刀剣学の現在 内藤 直子（大阪歴史博物館 学芸員）	大阪大学文学部（美術史学専攻）卒。大阪市立博物館に学芸員として採用され、のち大阪歴史博物館学芸員。現在は同館学芸第2係長。
---	---------------------------------------	---

博物館に勤めてからの25年、刀剣刀装具の展示に新しい手法を取り入れ続けてきました。現在の刀剣展示の手法の中には、私が最前線で試行してきた取り組みが多数反映されています。これまでの試みをふりかえりながら、現在の刀剣展示やその見方、これからの展望などをお話します。

また、刀剣を学問として見たとき、その幅広さゆえに、全方向の関心に応えられるだけの学問的蓄積が十分揃っていないという現状もあります。25年間刀剣刀装具の展示を行ってきた立場から、そんな刀剣刀装具界の現状についても、ざっくばらんにお話したいと思います。

第2回 10/19 13:30 ～15:00	現代刀匠として日本刀を鍛える 高見 國一（刀匠）	大阪芸術大学工芸学科卒。1992年河内國平に入門、1999年独立・高見國一鍛刀場設立。新作名刀展・高松宮記念賞他特賞9回受賞、令和元年「無鑑査認定」。兵庫県芸術奨励賞など。
---	-----------------------------	--

武器である刀剣が、長い歴史の中でこれほどまでに大切に扱われた国は日本をおいて他にはありません。現代刀工としての使命とはなんのでしょうか。古刀には長い時代を超えてきた歴史があり、私が作り出す刀は、今後どれだけの時間が流れてもその事実を超えることはできません。しかし、今を生きる刀工として伝統技術の伝承はもちろんのことですが、現代だからこそできる科学技術により、より高い水準で日本刀を作ることは可能です。探求心を持って、頭は柔軟に、折れない強い心で作刀に情熱を注ぎ続けます。

第3回 10/26 13:30 ～15:00	藤ノ木古墳出土の 原「玉纏太刀」をめぐる諸問題 深谷 淳 （名古屋市教育委員会文化財保護室）	2003年3月関西大学大学院文学研究科修了、同年4月より名古屋市教育委員会学芸員。現在、埋蔵文化財、史跡の保存活用業務に従事。「金銀装倭系大刀の変遷」『日本考古学』第26号など。
---	---	---

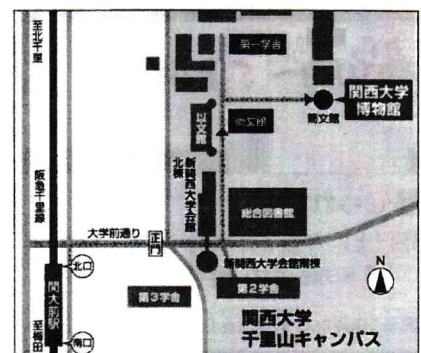
奈良県藤ノ木古墳の、全面が金や銀で装飾された大刀は、古墳から出土する金銀などの装飾をもつ倭系大刀（装飾付倭系大刀）の最高峰に位置づけられます。また、『延喜式』の記述の検討から、伊勢神宮の神宝である「玉纏太刀」の原形となったと考えられています。

今回の講座では、藤ノ木古墳出土大刀を含む、装飾付倭系大刀の変遷と特徴、その出土古墳の分布から何が読み取れるのかについて検討します。

受講の申込み方法

- 受講料 : 無 料
- 定 員 : 50名（連続3回の講座を受付けます）
- 申込方法 : 「関西大学博物館ミュージアム講座希望」と明記して、
 ①名前 ②住所 ③電話番号 ④E-Mail アドレス
 の順でご記入いただき、関西大学博物館までE-Mailまたは往復はがき
 （返信先住所を必ず記載のこと）にてお申込みください。
 （電話での申込み受付は行っておりません）
- 申込締切 : 10月4日【必着】
 （定員を超えた場合、抽選となります。）
 ※申込締切日の翌日以降、受講決定通知を、Eメールまたは返信はがきで
 関西大学博物館から返送します。
 10月8日までに返信がない場合、お問合わせください。
 受講決定者は当日受講決定通知を持参いただき、受付にご提示ください。
- 申込先 : 関西大学博物館「ミュージアム講座」係
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp
 ※申込み時にご記入いただいた個人情報は、受講者名簿の作成、
 各種講座のご案内にのみ使用します。
- 問い合わせ : 関西大学博物館 TEL : 06-6368-1171 [9:00～17:00]

【会場アクセス】



関西大学千里山キャンパス
 阪急千里線「関大前」駅下車
 北改札 徒歩約10分